# 市議会だより

議会の取り組みをお知らせする情報誌

## すず市議会だより

No.6

平成29年
11月1日発行

# 平成29年 第3回 9月定例会

会期:平成29年9月11日～22日

**第3回9月定例会が9月11日から22日までの12日間の会期で開催され、平成29年度一般会計補正予算など予算に関する議案や、税条例の一部改正についての議案など、市長提出議案12件および議会議案2件を全会一致で原案可決・同意しました。**

## 意見書1件、決議1件を全会一致で可決

議会議案第6号「朝鮮民主主義人民共和国の核実験と弾道ミサイル発射訓練に対する抗議決議について」は、去る9月3日、朝鮮民主主義人民共和国が6回目の核実験を強行しました。また、弾道ミサイル発射訓練もエスカレートし、8月29日、9月15日に発射されたミサイルの軌道は、北海道上空を通過しました。これらの北朝鮮政府の一連の挑発行動に対して断固抗議し、朝鮮半島の非核化や対話実現に向けた具体的行動をとることを強く要求するものです。

議会議案第7号「道路整備にかかる補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書について」は、「道路整備に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の補助率等の嵩上げ措置について、平成30年度以降も現行制度を継続し、必要な道路整備の推進が図れるよう、強く要望するための意見書であり、全会一致で可決し、内閣総理大臣、衆参両院議長、国土交通大臣など国の関係機関に提出しました。

（議案提出者　大兼政議員）

## 決算審査特別委員会を設置

委員長　寺井　秀樹
副委員長　三盃三千三
委　員　番匠　雅典
濱野　隆三
米田　幸助
濱田　隆伸

## 9月定例会の議決等結果

| 件名 | | | 備考 |
|---|---|---|---|
| 議案第49号 | 平成29年度珠洲市一般会計補正予算（第２号） | 原案可決 | |
| 議案第50号 | 平成29年度珠洲市国民健康保険特別会計補正予算（第１号） | 原案可決 | |
| 議案第51号 | 平成29年度珠洲市下水道事業特別会計補正予算（第２号） | 原案可決 | |
| 議案第52号 | 平成29年度珠洲市介護保険特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 | |
| 議案第53号 | 平成29年度珠洲市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号） | 原案可決 | |
| 議案第54号 | 平成29年度珠洲市水道事業会計補正予算（第１号） | 原案可決 | |
| 議案第55号 | 上山・北山辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について | 原案可決 | |
| 議案第56号 | 珠洲市税条例の一部を改正する条例について | 原案可決 | |
| 議案第57号 | 石川県市町村消防賞じゅつ金組合規約の変更について | 原案可決 | |
| 議案第58号 | 珠洲市営住宅条例の一部を改正する条例について | 原案可決 | |
| 議案第59号 | 珠洲市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて | 原案同意 | 藤野裕之さん |
| 議案第60号 | 珠洲市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて | 原案同意 | 大句哲正さん |
| 議会議案第6号 | 朝鮮民主主義人民共和国の核実験と弾道ミサイル発射訓練に対する抗議決議について | 原案可決 | |
| 議会議案第7号 | 道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書について | 原案可決 | |

決議

### 朝鮮民主主義人民共和国の核実験と弾道ミサイル発射訓練に対する抗議決議

去る9月3日、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）は、6回目の核実験を強行した。大陸間弾道ミサイル（ICBM）搭載用の水爆実験とみられる。弾道ミサイル発射訓練もエスカレートしている。能登半島沖の日本海への着弾が相次ぎ、8月29日、9月15日に発射されたミサイルの軌道は北海道上空を通過した。

国際社会の強い自制の声や警告に反して行われる核実験、そして繰り返される弾道ミサイル発射訓練は、明確な国連安全保障理事会決議に対する違反行為であり、国際的な核不拡散体制に対する重大な挑戦である。

本市は、我が国が唯一の戦争被爆国であることに鑑み、この地球上に再び広島、長崎の惨禍を繰り返してはならないとの決意を込め、平成7年にすべての核被害の廃絶をめざす「平和都市宣言」を議会において決議し、核廃絶と恒久平和を訴えてきた。

本市議会は北朝鮮政府の一連の挑発行動に対して断固抗議し、核兵器開発の即時停止と朝鮮半島の非核化、対話実現に向けた具体的行動をとることを強く要求する。

以上、ここに決議する。

平成29年9月22日

石川県珠洲市議会

# 常任委員会の主な審査内容

※審議過程での主な質疑応答の一部を紹介します。

## 予算常任委員会審査内容

**問** 都市計画税には不公平感があり、全国的には廃止する自治体もある。都市計画税を課税する上での基本的な考え方を教えてほしい。

**答** 都市計画税は、都市計画事業に充てるための税であり、受益を受けている区域の住民が負担をするというのが基本的な考え方である。

**問** 6月定例会において投票区の見直し案が提示されたが、いつから実施されるのか。

**答** 平成30年度に執行される選挙からの適用を予定している。衆議院選も知事選も現行の26投票区で行う。芸術祭で使用中の施設に関しては、近隣の施設を検討する。

**問** 公衆トイレの清掃委託料が増額された理由を聞く。

**答** 公衆トイレの定期清掃委託料は当初予算に計上しているが、奥能登国際芸術祭の開催により臨時的に清掃の回数を増やすために今回増額した。

**問** 水道事業費の設計費の増額理由は何か。

**答** 若山川の柳橋架替工事における水道管の取付位置の変更により、設計を修正するものである。

**問** 奥能登国際芸術祭において、サポーターとしてご協力いただいている皆さんが日置ハウスに宿泊されているようだが、宿泊料はどのようになっているのか。

**答** 芸術祭を開催している他の地域を参考に、今回は実行委員会の支出とし、サポーター本人からはいただいていない。

## 各常任委員会審査内容

### 総務常任委員会

**問** 珠洲市総合防災訓練と同時に実施されている各地域の取り組みを市内各地の自主防災組織で共有し、活かしていただくことで、各地域の訓練がより充実したものになるのではないか。

**答** 各地域における防災訓練の詳細内容報告について資料を共有する等、検討したい。

**問** 衆議院選挙の投票日と芸術祭の最終日が重なる。職員を配置して行く中で人員的問題はないのか。

**答** これまで日時の指定をせず芸術祭に関するサポーターを募集してきた。投票日と重なる芸術祭の最終日に関しては日時を指定し、県内のサポーターを中心に対応していきたい。

**問** 都市計画税の賦課地域から外れた地域に対して、今まで都市計画税を払ってきた皆さんに対する還元は考えていないのか。

**答** 近年は公共下水道のみであるが、以前は道路・公園等を都市計画区域内で整備してきている。

**問** 都市計画税を下水道を理由に課税することには無理があるのではないか。

**答** 公共下水道事業は都市計画税を財源として整備されてきた経緯をふまえ、今後も都市計画税を課す十分な理由があると判断し、引き続き課税をお願いしたい。

**問** 国民健康保険制度の改正により保険財政の運営主体が県になるが、このことにより市民の負担が大きくなることはないのか。

**答** 珠洲市としては現在の国民健康保険税額を維持していきたいと考えている。

### 産業建設常任委員会

**問** 都市計画税の課税区域が変わったが、都市計画区域は変わったのか。非課税区域は建築確認申請などの手続が緩和されるのか。

**答** 課税区域が変わっただけで、都市計画区域は変わらない。本来都市計画区域は税金を徴収することが目的ではなく、開発行為等の事業を行うとき、規則に沿って行うことを目的としている。非課税となった区域でも手続は従来どおりとなる。

**問** 耐震相談の募集があったが応募件数は何件あるのか。また、耐震改修の補助額および診断時建物設計図が無い場合の個人負担額はいくらか。

**答** 耐震診断の応募件数は3件。耐震改修の補助は、都市計画区域内で工事費の3分の2で、上限は180万円である。診断の個人負担額は設計図があれば無料であり、設計図が無い場合は5千円で、建物内部の調査が必要となる。

**問** 耕作放棄による荒廃地が広がっているため、農業振興地域の見直しが予定されているが、見通しはどうか。

**答** 県の指針を踏まえ、市も農業振興地域の見直しを進めているところである。

# 9月定例会　一般質問

## 一般質問に9人が登壇
## 奥能登国際芸術祭や、都市計画税の見直しなど活発な議論が展開されました。

9月19日、本会議では、9氏が一般質問に登壇しました。各議員の主な質問と答弁の要旨を紹介します（質問順に掲載しています）。
※一般質問とは、議員が市長などに対し、市の政策や各事業などについて、その方針や実施状況を問うことです。

### トライアスロン珠洲大会について

**Q**　8月28日に開催された第28回トライアスロン珠洲大会で、67歳の男性選手が亡くなった。昨年に続く死亡事故で第11回大会でも女性選手が亡くなっている。まず、その顛末を聞く。市長は主催する責任者として、この大会の位置付けや開催意義をどう捉えているのか。その上で、来年度以降も継続して開催するのか否か。

**A**　海上の監視は万全の体制を敷き、医療機器も充実して臨んだ。亡くなられた炭鎌さんはゴール手前380m地点でコースロープにつかまっているところをライフセーバーが発見し直ちに救助した。極めて迅速に心肺蘇生の処置等をして総合病院へ救急搬送したが、大切な命を救うことができなかった。

大会の開催意義は、交流人口の拡大による経済効果や本市の知名度の向上とブランド化などであったと思っている。しかし、開催当初より宿泊施設が減少し、経済効果も限定的となってきている。2年連続の死亡事故発生によりブランド化に逆行しないかという危惧もある。今後の開催については白紙とし、大会開催意義を改めて熟考する必要があると考えている。佐渡や石垣島、宮古島などの大きな大会の事例を調査し、広く関係者の意見を伺いながら年内には結論を出したいと考えている。（泉谷市長）

大兼政 忠男 議員　一括方式

### 文藝館について

**Q**　年間を通して文藝館をより多くの方々に利用していただくため、貸館施設ではあるが、市が主催する行事も開催し、活用を図ることが必要では。また、直轄施設となり3年が過ぎ、周囲の環境の悪化や、施設の傷みが目立つ。

**A**　今後とも貸館施設として利用促進を図るが、利用者の方々の意見を参考に、新たな活用も検討したい。また、今後周辺の環境整備にも努めたい。（山下教育委員会事務局長）

### 防災行政無線について

**Q**　防災無線は、運用開始から23年が経過、老朽化により故障発生が懸念され、故障時は修理部品の確保が難しい。保守管理および修理用部品の確保策は。

**A**　故障時は保守業者が対応している。部品の製造中止などで修繕に時間を要する場合は防災ラジオの配布で対応する。（泉谷市長）

**Q**　老朽化した現行システムは、早期のデジタル化移行・更新が必要。市の更新計画の有無および整備概算費用は。

**A**　来年度以降、デジタル方式同報系防災無線整備を進めたいと考えている。概算費用は実施設計1、500万円、整備・戸別受信機購入で8億円を見込むが、国のコストダウン方策の動向を注視してまいりたい。（泉谷市長）

濱野 隆三 議員　一括方式

## 奥能登国際芸術祭について

寺井 秀樹 議員
一括方式

**Q** 芸術祭未開催年度の取組について聞く。次回以降の開催期間については、台風シーズンも考慮し検討するべきではないか。また、芸術祭を契機に移住定住の促進を図るべきではないか。

**A** 会期終了後も一定程度の作品は常設し、多くの皆さまにアートを楽しんでいただけるようにしたい。3年後に開催する際の開催期間は、さまざまな観点から検討していきたいと考えている。本市の潜在力の高さと人口減少が進む厳しい現実とのギャップをアートの力で埋めることで魅力を高め、移住・定住につなげたいという思いで芸術祭を開催した。市民の皆さまが自分たちの地域を誇りに感じることや地域がいかに変わるかが何よりも重要であると考えている。（泉谷市長）

## 放課後子ども教室について

**Q** 放課後子ども教室と放課後児童クラブが混在しているが、将来的にはどうしていくのか。未設置地域の現段階の具体策はあるか。また、夏休み等長期休暇中は1日預かることは可能か。

**A** 既存の放課後児童クラブは放課後子ども教室に移行することを検討していくとともに未設置の小学校については地域の実情に応じて柔軟に対応していきたいと考えている。長期休暇中は支援員の配置が可能であれば8時から18時までの開催を検討していきたい。（泉谷市長）

## 貨客混載事業について

**Q** 本年の9月1日から「貨客混載事業」が石川県内の過疎地で可能となった。行政サイドからの支援策はないか。また、事業実施後の自治体へのメリットに何が想定されるか。

**A** 外出困難な高齢者等の買い物弱者対策や、公共交通の維持・確保という面ではメリットがあるが、実施主体より、相談を受けた段階で支援策を検討したい。（金田企画財政課長）

## 国民健康保険税について

**Q** 国民健康保険の運営主体が来年4月から県に移管されるが、現在の税率を維持できるのか。

**A** 平成30年度から保険税率はこれまで通り市町が決定することになるが、納付金が保険税を上回る場合は、事業基金を充当し保険税を維持していきたいと考えている。（泉谷市長）

## 行政防災無線とJアラートについて

向山　忠秀 議員
一括方式

**Q** 各自治体の防災行政無線とJアラート発令時のトラブルが判明している。本市は大丈夫か。併せて、緊急時の避難マニュアルを作成せよ。

**A** 平成24年より緊急情報を受信した場合、防災行政無線が自動起動している。避難マニュアルについては、珠洲市国民保護計画の実施要項に定めている。（泉谷市長）

## 奥能登国際芸術祭の出だし状況と今後の課題について

中板 秀一郎 議員
一括方式

**Q** パスポートの販売状況は。

**A** 9月2日までの前売りで約17、000冊、9月17日までの当日販売で約1、300冊、合計約18、300冊となっている。

また、作品受付窓口で購入される個別鑑賞券については、同日付で約4、000枚となっており、9月18日現在の入場者数の推計値は15、000人を超え、好調な出だしとなっている。（泉谷市長）

**Q** 各芸術作品展示個所での受付サポート状況について

**A** 期間中、平日、土・日・祝日を問わず、概ね20人の市職員が担当エリアごとに配置されている。これに加え、連日、平均すると、地域の皆様が市内全体で約20人、市内外のサポーターの皆様で約10人、全体で約30人規模でのサポーターの皆様に応援いただいている。

今後、会期終盤に向け、さらに多くの来場者が予想されるため、引き続き多くの皆様のサポーターをお願いしたいと考えている。（泉谷市長）

**〈その他の質問〉**
- ラジオななお臨時災害放送局について
- 北朝鮮のミサイル発射について

## 珠洲の食の維持とブランド化について

**Q** 本市は豊かな食材を活かすため、さまざまなPRを通じ都市圏へ情報発信を進めている。しかし、少子高齢化や若者の都市部への流出により、農業、漁業などの第一次産業に携わる担い手不足が懸念される。市内で働く20代、30代の若者で、第一次産業に従事している方の人数および担い手育成についてどのような対策を講じているのか。

**A** 現在、第一次産業に従事している20代から30代の農林漁業者数は57人で、内訳は、農業で18人、林業で10人、漁業で29人である。担い手対策については、農業では45歳未満の方を対象とした就農給付金事業や、経営に必要な農業機械の導入を支援する補助事業などがある。また、漁業については、漁獲不良により収入を補償する漁業共済掛け金への補助や漁船取得等の借入金利子に対する補助など、経営の安定を図るための支援を行っている。（泉谷市長）

**Q** 食材の宝庫でもある本市は、一つの食材にターゲットを絞り、珠洲市自体のブランド力も高めてはどうか。

**A** 珠洲市という地域そのものをブランド化することができれば、本市で生産されるあらゆる特産物の価値も高まることから、本市の「質」や「魅力」を高める取り組みに力を入れていきたい。（泉谷市長）

三盃 三千三 議員
一括方式

## 高齢者等への新たな見守り活動について

**Q** ＬＰガスの使用量を把握し、使用実態がない場合、親族に連絡する取組みを検討してはどうか。

**A** 88歳、95歳、１００歳を迎える市民の方には職員が直接お祝いを持参し、暮らしぶりなどを伺っている。また、「珠洲市地域見守りネットワーク」と協力し、日常業務の中で異変を感じた場合情報提供を受けるなど、連絡・通報を行う地域見守りに関する協定書を結び、官民一体となった地域見守り活動に努めている。（泉谷市長）

番匠 雅典 議員
一括方式

## ちょっこり助け隊活動について

**Q** ちょっこり助け隊の活動に話し相手になることも導入してはどうか。

**A** 「傾聴ボランティア事業」や「高齢者の知恵に学ぶ会」等の取組みに加え、元気の湯の運動教室「ぱわふる」や認知症予防、閉じこもり予防などの介護予防教室を展開している。今後も、地域コミュニティーの中で、高齢者自身が主体的に活動され、交流が広がるよう取り組みたい。（泉谷市長）

## 中学校の部活動について

**Q** 運動系が体力的に難しい子や事情により参加できない子どもへの対応が必要ではないか。

**A** 学校と保護者で話し合っていただくことが大切である。（多田教育長）

## 芸術祭の運営と次回開催の判断について

**Q** 各作品展示会場のバリアフリー実施状況、及び会期後半に向け、障がい者受入れで対応できることはないか聞く。

**A** 一部の会場はバリアフリー対応だが、多くは障がいのある方、高齢の方には入場しづらいのが現状である。ハード面での対応には限界があるが、必要な情報の発信に努める。（泉谷市長）

**Q** 作品の準備・運営業務への職員配置について、総配置数と人件費に換算した額、及び実際の人件費増額分を聞く。サポーターが運営の中心を担うはずではなかったか。

**A** 準備作業に延べ55人、期間中の総配置予定人数は１、１００人で、平均賃金ベース換算で約１、５００万円である。予算上必要な額は時間外勤務手当約６５０万円程度となる。早い段階からサポーターを募集してきたが、人数は不足している。（泉谷市長）

**Q** 次回開催はどのように判断するのか。

**A** 入場者数やパスポート売上、市内各施設の入り込み状況の他、来場者へのアンケート、地域住民の意識調査も行い、さまざまな観点から検証し、実行委員会で協議、決定する。（泉谷市長）

北野 進 議員
分割方式

〈その他の質問〉
・学校多忙化の解消について

## 都市計画税の見直しについて

**Q** 今まで何十年間も都市計画税を払ってこられ、今回都市計画税の賦課区域から外れる地域の皆さんに対する今後の対応をお聞きする。

**A** これまで賦課区域における整備事業の財源とし還元してきた。（泉谷市長）

**Q** 都市計画区域の下水道を利用している市民には税金という形で借金返済のための負担を強いる一方で、他の地域で下水道を利用する市民は借金返済のための税負担がないことになる。これでは平等と言えない。都市計画税は廃止すべきでは。

**A** 都市計画区域の下水道事業区域のみ、引き続き都市計画税を課税する。（泉谷市長）

## 固定資産税について

**Q** 珠洲市は1・6％で、県内の市では一番高い税率となっている。標準税率に下げるべきでは。

**A** 現行税率を維持していく必要があると考えている。（泉谷市長）

## 職員のボランティアについて

**Q** 芸術祭とトライアスロンの職員配置において整合性はとれているのか。

**A** トライアスロンは、実行委員会からの協力依頼によるもので、奥能登国際芸術祭は職務として従事させている。（泉谷市長）

米田 幸助 議員
分割方式

# 総務常任委員会視察報告

**総務常任委員会委員長　寺井秀樹**

総務常任委員会は、7月10日から7月12日の日程で、北海道江差町、青森県弘前市の先進地視察を行いました。

### 北海道江差町

友好都市となり来年で20周年を迎える江差町を視察。江差町民の4割は珠洲市を中心とした奥能登出身で、町中を歩いてみると、珠洲でよく見る名字の表札が多々あり、町役場の入り口には「広報すず」が自由に持っていける形で置いてあるなど、所々で珠洲を感じることができました。今回は、江差町が官民協同で進めた「歴史を生かすまちづくりモデル地区整備」「日本遺産に認定された江差の五月は江戸にもない～ニシンの繁栄が息づく町～」の2点を中心にお話を聞かせて頂くとともに、そのモデル地区をご案内いただきました。芸術祭で盛り上がる珠洲市において、地域に残る伝統文化はもちろん、珠洲の街並みや建造物をどのように活用していくかが今後さらに重要になってきています。その上で、今回実際に江差町を視察して、地域の皆さんから話を聞くことができ今後の議会などを通し提案していけたらと思います。また、互いの文化、社会、経済を高めあうためにも、今後ますます江差町との友好関係を深めることの必要性も感じました。

■照井江差町長と

### 青森県弘前市

弘前市では「移住・定住の取り組み」「弘前型スマートシティ構想」について視察しました。まず「移住・定住の取り組み」については、結婚出産のタイミングで移住を考えている若者が多いことから、子育てに係る経済的な負担を軽減することにより、地域全体の子育て支援の充実を図り、子育て世帯の移住検討者への魅力向上につなげていました。また、弘前型スマートシティ構想については、東日本大震災をきっかけに市民意識の変化が起きたことによるエネルギーの自給率向上に向けた取り組みを中心に7つのプロジェクトにより進められていました。その中でも「ひろさき便利マップ」という携帯端末などを活用して、あらゆる地域の情報が取得できる環境を年齢や国籍を問わず、市民の皆さまはもちろん、初めて市内を訪れる場合でも自由に安心して観光が可能となるサイトが運営されています。さらにこの取り組みを行う上では市民や事業活動を行う事業者の理解と主体的な参画が不可欠ということで「産学金官」の連携組織を推進体制の土台としていました。また、融雪に関しても「下水道熱を活用した融雪」や個人の井戸水を活用した融雪施設の導入など、新たな気づきとなる取り組みも多々あり、今後もこういった先進的な取り組みに注目し、珠洲に取り入れていく必要性を感じました。

珠洲市議会だより
発行：珠洲市議会　編集：議会だより編集委員会
No.6　2017年11月1日発行

## 主な議会の動き

| 月 | 日 | 事　　項 |
|---|---|---|
| 8 | 8 | 議会改革特別委員会 |
| | 17 | 第135回石川県市議会議長会定期総会【能美市】 |
| | 25 | 議員全員協議会 |
| 9 | 5 | 議会改革特別委員会 |
| 9 | 11 | 議会運営委員会 |
| | | 議員全員協議会 |
| | | 平成29年第3回珠洲市議会9月定例会（開会） |
| | 13 | 議会運営委員会 |
| | | 議会だより編集委員会 |
| | 19 | 平成29年第3回珠洲市議会9月定例会（質疑・一般質問） |
| | | 決算審査特別委員会 |
| | | 議員全員協議会 |
| | 20 | 予算常任委員会 |
| | | 各常任委員会 |
| | 22 | 議会運営委員会 |
| | | 議員全員協議会 |
| | | 平成29年第3回珠洲市議会9月定例会（閉会） |
| | | 議会運営委員会 |
| | 25 | 議会改革作業部会 |
| | 26 | 奥能登市町議会議長会連絡協議会設立総会【輪島市】 |
| 10 | 3 | 議会だより編集委員会 |
| | | 議会改革作業部会 |
| | 10 | 議会運営委員会研修視察（～11日）【東京都調布市】 |
| | 12 | 議会だより編集委員会 |
| | 16 | 議会改革特別委員会 |
| | 17 | 決算審査特別委員会 |
| | 18 | 議会だより編集委員会 |
| | 20 | 決算審査特別委員会 |
| | 23 | 議会だより編集委員会 |
| | 30 | 産業建設常任委員会研修視察（～11月1日）【大分県由布市、玖珠町】 |

### 太田　道兼　歌碑

「三輪ならで　ここにもありや一本の　杉のみどりの志るしさかえて」

諱：頼資　号：文聾斎　江戸中期・田沼意次時代の人、加賀藩の作事所に勤めた官吏、官用で能登・越中をしばしば巡り、能登一国の名所旧跡を紹介した地誌「能登名跡誌」を著しました。この歌は上戸高照寺の倒さ杉を詠んだもので、「能登名跡誌」には、「高照寺と伝て密宗あり、昔は行基菩薩の開基にて、七堂伽藍の大寺也、今も作佛多し、門前の田中に、白比丘尼の昼餉（ひるげ）の箸をさし玉ひしと伝て杉の大木あり、枝葉異れる木也、能登の一本杉と云へり。」とあります。三輪は、高照寺が別当であった現在の上戸気多神社の御神体が、奈良県の大和一之宮大神神社（三輪神社）と同体、三輪山は山そのものが御神体であり杉の神樹名木が複数あります。この碑は高照寺前の倒さ杉の後ろにあり、昭和63年上戸知ろう会によって建てられました。

（表紙写真）

## ご案内

### 第4回珠洲市議会 12月定例会

| 本会議日時 | 議事内容 |
|---|---|
| 12月5日(火) 15時～ | 開会、市長提出議案一括上程・説明、請願常任委員会付託 |
| 12月12日(火) 10時～ | 質疑・一般質問、議案等常任委員会付託 |
| 12月15日(金) 15時～ | 各常任委員会審査結果報告、質疑・討論、議案・請願等採択、閉会 |

## お知らせコーナー

### 傍聴してみませんか

本会議は公開され、自由に傍聴できます。本会議当日に、市役所西側5階で受付してください。

### インターネットでも視聴できます

珠洲市議会では、本会議の審議状況を市のホームページに映像配信（生中継）しています。また、過去の議会の録画映像も配信しています。

### 珠洲市議会ホームページ

身近で開かれた市議会を目指し、ホームページで様々な情報を公開しています。市議会の役割や仕組み、議員や委員会の紹介、議会日程、議会だよりなど掲載しています。ぜひご利用ください。

珠洲市議会　検索

## 編集あとがき

6月定例会において、1,207名という多くの市民の皆さまの同意のもと「市内の小学生が一律に放課後児童クラブを利用できる環境整備の早期実現の請願について」が提出され全会一致で採択されました。このことにより行政も重い腰をゆっくりと上げ動きだし、子どもたちの放課後対策について少しずつですが前に進もうとしています。この請願により、こういった声をあげるに至った経緯や提出された皆さんのご労苦を感じ、今の議会が本当に市民の声を反映できているのか考える良い機会にしなければいけないようにも思います。質問形式が今までの一括形式のみから分割形式を取り入れ、より皆さまに分かりやすく白熱した議論が交わせる一問一答形式にむけた一歩を踏み出しました。この「市議会だより」を通し議会をご理解いただき、多くの市民の皆さまの参画により、共に新しい「議会」を構築していけたらと思います。

編集委員　米田　幸助

議会だより編集委員会
委員長　向山　忠秀
副委員長　大兼　政忠男
委員　米田　幸助
〃　濱野　隆三
〃　番匠　雅典

〒927-1295 石川県珠洲市上戸町北方1字6番地2
TEL 0768-82-7797　FAX 0768-82-7774
ホームページ　www.city.suzu.ishikawa.jp/gikai/shigikai.html